

福島県立医科大学 大学医師会会報 2025.1.20 No.176

* 巻頭言



「教務委員会」所感

糖尿病内分泌代謝内科学講座
主任教授 島袋 充生

2024（令和6）年4月、福島県立医科大学 医学部 教務委員会 教務委員長を拝命した。執筆時点で10か月経過した。教務に関わる多くの課題に向き合う怒濤の日々を、曲がりなりにも過ごせたのは、総勢17名の医学部教務委員会の先生方、鈴木弘行教育・研究担当理事、藤森敬也医学部長、ならびに教育研修支援課 医学部教務系の皆様の温かいご支援の賜物である。御礼申し上げたい。

2022（令和4）年4月から2年間の教務委員を経験したとはいえ、苦勞したことは、膨大な教務の仕事の概要を把握し、毎日のように発生するそれぞれの課題に、その都度最適解を見つけることである。

福島県立医科大学医学部教務委員会規程によれば、教務委員会の所掌事項は7つある。(1) カリキュラムの教育課程への反映および実施。(2) 学生の修学指導および厚生補導。(3) 学生の再入学、卒業。(4) 学生の休学、復学、転学、留学、退学および除籍。(5) 学生の賞罰（教務関係）。(6) 聴講生、特別聴講学生、研究生、科目等履修生および外国人留学生に関すること。(7) その他学生の教育等に関すること、である（一部省略）。

7つの所掌事項は、月一度の定例会議では解決しない課題がほとんどで、BSL 検討部会、卒業試験・進級試験・C B T 検討部会、プロフェッショナル教育部会、OSCE 検討部会、TBL・PBL・アクティブラーニング検討部会、グランドデザイン検討部会、FD 検討部会、臨床

能力教育部会の8つの部会で、教務委員会の先生方にお力を借り、課題の解決案を審議いただいている。

しかも、福島県立医科大学医学部のこれら教育活動は、客観的に評価されることが義務付けられている。

米国 ECFMG（海外医学部卒業生に対する米国医師資格認定機関）は「2023（令和5）年以降、医学教育の国際的認証を受けた医学部の卒業生以外には米国の医師資格を与えない」と宣言、日本の医学教育でも国際認証を実施すべきとの気運が高まっている。福島県立医科大学医学部は、医学教育の国際認証の道しるべとされる「一般社団法人 日本医学教育評価機構 <https://www.jacme.or.jp/>」による医学教育分野別評価」を2020（令和2）年に受審、2021（令和3）年10月1日より7年間の認定期間が始まった。医学部は、認定後も『評価報告書（確定版）』において「特記すべき良い点（特色）」として挙げられた教育活動を継続・発展させ、「改善のための助言」および「改善のための示唆」として指摘された事項の改善の取り組みを毎年報告している。

<https://www.fmu.ac.jp/univ/igakubu/hyoka.html>

さらに、大学は教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営および施設設備の総合的な状況に関し、7年以内ごとに、文部科学大臣が認証する評価機関（認証評価機関）の実施する評価を受けることが義務付けられている。福島医大は、2017（平成29）年、2024（令和6）年と独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 <https://www.niad.ac.jp/> による大学機関別認証評価を受審した。

教務委員会の役目は、外部機関での客観的評価をいただきながら、医学部学生ひとりびとりを「心を感じ、知を持ち、技を活かし、和を育み、地域を創造する医師」として養成することである（医学部の教育理念※）。微力ながらこのことを肝に銘じ、任期を全うしたい。

※ <https://www.fmu.ac.jp/univ/igakubu/rinen.html>

* 病院内の動き (12・1月)

◆高度医療機器体験会の開催について◆

令和6(2024)年12月21日(土)、本学附属病院において、医療人・育成支援センターが、福島県教育委員会と共催で高度医療機器体験会を開催しました。対象は県内の医学コース導入校の高校生20名です。

院内にある最新の高度医療機器を実際に操作し、最先端の治療技術に関する講義や医療現場の見学を通じて、医療や健康の大切さを学べる体験学習を提供しました。また、この活動により、参加者が実際の医療機器に触れる機会を得て、将来のキャリア選択に役立てることを目的としました。

座学プログラムでは、心臓血管外科の治療を通して最新の治療法を学び、体験プログラムでは、医療従事者以外では見ることも、体験することもできないプログラムに感嘆の声が上がりました。

また、医大生がサポート役として参加し、体験や交流プログラムを通じて高校生の皆さんと積極的にコミュニケーションを取っていただいたことで、参加者の満足度がさらに向上しました。

命を守り、命をつなぐ医療現場での体験会を通じて、参加者の皆さんが「医師になる夢を見る」から「医師になる夢を叶える」へと一歩踏み出すきっかけになればと思います。そして、いつの日か、参加者の中から医師となり、県民の皆さまの健康増進に貢献する人材が一人でも多く誕生することを心より願っています。

■座学プログラム

講義：「心臓血管外科とは？」

(心臓血管外科講座 教授 今坂 堅一 先生)

■体験プログラム

- ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」操作デモンストラーション見学

(泌尿器科学講座 准教授 小川 総一郎先生)

講師 佐藤 雄一先生)

- ・高精度放射線治療(ピンポイント治療)における患者固定・治療計画作成体験

(放射線腫瘍学講座 助手 齋藤 秀一先生)

放射線部 医学物理士 岡 善隆先生)

- ・電気メス・血管シーリング体験、植込型補助人工心臓見学

(臨床工学センター 出羽 仁 技師長)

荒 宏樹 主任医療技士)

■交流会

- ・参加者と医大生との交流会

(体験プログラムの様子)



一 病院管理課一

* 学内人事異動

異動事由 発令日 所属 職名 氏名 備考

(医学部等)

昇任	6.12.1	甲状腺内分泌学講座			
准教授		鈴木 聡	講師→、兼務：ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査部門甲状腺検査業務室副室長、呼吸器外科、消化管外科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、小児外科、甲状腺・内分泌内科、甲状腺・内分泌外科		
兼務	6.12.1	糖尿病内分泌代謝内科・総合内科・臨床感染症学講座			
教授		山藤 栄一郎	兼務：総合内科・総合診療医センター		

退職	6.12.31	消化器内科学講座	
	准教授	高橋 敦史	
昇任	7.1.1	消化器内科学講座	
	講師	鈴木 玲 助教→、兼務：消化器内科副部長、リウマチ・膠原病内科	
昇任	7.1.1	泌尿器科学講座	
	講師	佐藤 雄一 助手→、兼務：泌尿器科・副腎内分泌外科、甲状腺・内分泌診療センター	
昇任	7.1.1	生体機能研究部門	
	講師	井口 善生 助教→	
兼務解除	7.1.1	健康リスクコミュニケーション学講座	
	教授	田巻 倫明 兼務解除：ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター健康調査支援部門リスクコミュニケーション室長	
兼務	7.1.1	疫学講座	
	教授	大平 哲也 兼務：ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター健康調査支援部門リスクコミュニケーション室長	
任期更新	7.1.1	癌集学的治療地域支援講座	
	准教授	中嶋 正太郎 任期更新（～R10.3.31）	
任期更新	7.1.1	心臓調律制御医学講座	
	准教授	山田 慎哉 任期更新（～R9.12.31）	

* 大学医師会理事会報告

～ 第257回理事会議事録 ～

日時：令和6年12月2日（月）16時30分～

－報告事項－

報告第1号 県医師会各種委員会報告

▶広報委員会

・県医師会報や新聞の掲載記事執筆について数名の先生方に依頼済み。

▶生涯教育委員会

- ・11/19 福島県医師会医学大会開催済み。
- ・1/19 専門医共通講習会開催予定。

▶救急・災害医療対策委員会

・11/20 委員会が開催され、能登半島地震への派遣状況と県医師会災害医療救護計画見直しについて報告あ

り。

報告第2号 臨床研修医に対する症例検討会の開催について

・これまで県医師会主体で年2回開催されていたが、令和7年度からは方部ごと（県北・県中・会津・いわきの4方部）の医師会が主体となり年1回開催する見込みとなった。

・県北方部の医師会には大学医師会も含まれるため、大学医師会としての対応（検討会開催時の役割分担や費用負担等）について検討する必要がある。

・検討にあたっては、これまでの開催実績・内容、運営方法、開催費用等の検討材料を収集し、改めて検討することとする。

－協議事項－

議案第1号 会報第176号等の編集について

▶医師会会報第176号（1/20発行）

- ・巻頭言 執筆者：島袋充生 先生
題名：「『教務委員会』所感」

▶医師会会報第177号（3/20発行予定）

- ・巻頭言 執筆者予定者：鈴木雅雄 先生
(会津医療センター)

仮題：「光が丘鍼灸院の紹介」

▶医師会会報第178号（5/20発行予定）

- ・巻頭言 執筆者予定者：河野浩二 先生（副学長）
仮題：「双葉地域中核的病院整備構想について」

議案第2号 光が丘カップソフトボール大会への助成金支出について

・10/26（土）にソフトボール大会が開催された後、大会事務局から提出された収支報告書にもとづき助成金を支出した。

議案第3号 福島市医師会・福島医大医師会合同新年会の開催について

- ・開催日時等 令和7年1月25日（土）午後6時
ウェディングエルティ（福島市野田町）
- ・後日、各講座に開催案内を送付し出席者を取りまとめる。

▶次回開催予定

日時：令和7年2月3日（月）16時30分から

場所：総合科学系研究棟（4号館）

4階 第2ゼミナール室

* 光が丘協議会だより

～令和6年度臨床研修指導医講習会を開催しました～

令和7年1月11日（土）～12日（日）の2日間にわたり、福島県立医科大学にて「令和6年度臨床研修指導医講習会」を開催しました。

本講習会は、厚生労働省の指針に基づき、指導医にプライマリ・ケアに対する指導方法等の習得と、指導能力の一層の向上を図るために開催するもので、福島県立医科大学からは26名、光が丘協議会会員施設からは15名の合計41名が受講しました。

講習会では、約16時間にわたり様々なワークショップを行い、受講者は活発なグループワーク、意見交換を行いました。

～令和6年度福島県レジデントスキルアップセミナー「腹部エコーセミナー」～

当協議会の共催で、福島県内の臨床研修医を対象とするセミナーを下記のとおり開催する予定です。

記

日 時：令和7年2月15日（土）

13:00～16:30（予定）

場 所：福島県立医科大学

対象者：福島県内の臨床研修病院に在籍する主として臨床研修医

— 光が丘協議会 —

* 大学医師会共催の学術講演会案内

— 総合診療セミナー —

日時：令和7年2月8日（土）14:00～16:25

場所：福島県立医科大学 福島駅前キャンパス

[特別講演]

演題：「ハワイの家庭医が見る高齢者医療 - 日本との違いを中心に -」

演者：The Queen's Health Care Centers

家庭医療科 天野 雅久 先生

日医生涯教育講座取得単位：2単位

カリキュラムコード：0（最新のトピックス・その他）

— 第7回福島 Onco-Cardiology 研究会 — (Web 開催)

日時：令和7年2月21日（金）19:00～20:10

[講演 1]

座長：福島赤十字病院 副院長 大和田 尊之 先生

演題：「乳がん患者におけるがん治療関連心機能障害（CTRCD）とがん予後への影響」

演者：福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座

芳賀 文香 先生

[講演 2]

座長：福島県立医科大学附属病院

病院長 竹石 恭知 先生

演題：「アントラサイクリン心筋症における鉄依存性細胞死フェロトーシス～フェロトーシスを基軸としたアントラサイクリン毒性の病態解明と新たな予防法の開発について～」

演者：九州大学大学院医学研究院 循環器内科

特任教授 池田 昌隆 先生

事務局保管資料

・福島県医師会シリーズ（DVD）No.89

「あなたの骨は大丈夫？」

～骨粗しょう症を正しく知って骨折を予防しよう～

※貸出・閲覧希望の際は事務局までご連絡下さい。

福島県立医科大学医師会
発行者：小島祥敬
広報委員：大谷晃司・鈴木弘行
事務局：阿部久夫
〒960-1295 福島市光が丘1番地
TEL：024-547-1111 内線 4200
TEL/FAX：024-548-1650
メールアドレス：ishikai@fmu.ac.jp
URL：www.fmu.ac.jp/home/somu/ishikai/ishikai-index.htm
福島県立医科大学光が丘協議会
URL：www.hikarigaoka-k.jp/